

American DJ®

38B LED PRO

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ 38B LED PRO をご購入頂き誠にありがとうございます。本製品は DMX 規格に対応したパーライト型 LED ウォッシャーです。軽量かつコンパクトで、移動の多いイベントなどでの使用に最適です。サウンドアクティブモードなどでの使用が可能な他、DMX コントローラーを使って操作することもできます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また本書が保証書となりますので大切に保管してください。

基本仕様

- RGB カラー
- サウンドアクティブ対応（本体にマイクを内蔵）
- DMX-512 対応
- DMX チャンネル数は 3、6、7DMX チャンネルモードから選択が可能
- ディミング 0-100% (DMX モード時)
- カラーチェンジモード
- カラーフェードモード

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源ケーブルを抜き差しする際は、プラグを持って行ってください。
5. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。アース端子は必ず接続してください。
6. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
7. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となります。
8. 周囲温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
9. 本体は壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
12. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

基本操作

38B LED PRO の設定は背面にある MODE ボタンと UP/DOWN ボタンを使用して行います。
38B LED PRO は 20 秒以上ボタン操作を行わないと、ディスプレイの表示が自動的に消灯します。
常にディスプレイの表示をオンにする場合、MODE ボタンを押しながら UP ボタンを押して設定します。MODE ボタンを押しながら DOWN ボタンを押すと、消灯する設定になります。

38B LED PRO では以下 7 通りのモードが選択できます。

- ・ カラーモード : 7 色の中から任意の色を選びます。
- ・ カラーチェンジモード : 設定したスピードで、自動的に色が切り替わります。
- ・ カラーフェードモード : クロスフェードしながら自動的に色が切り替わっていきます。
- ・ オートモード : 自動で色が変わっていきます (切り替え動作、フェード動作含む)。
- ・ サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した外部音に反応して色が切り替わります。
- ・ マスター/スレーブモード : スレーブに設定した灯体がマスターの灯体に同期して動作します。
- ・ DMX コントロールモード : DMX コントローラーで操作します。

カラーモード

任意の色に固定できます。

1. ディスプレイに“C.L.X(0-7)”と表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して、X を 0-7 の間で任意の値に設定し、色を決定します。

それぞれの番号に対する色は下記の通りです。

0 : ブラックアウト	1 : 赤	2 : 緑	3 : 青	4 : 紫
5 : ライムグリーン	6 : シアン	7 : 白		

カラーチェンジモード

内蔵プログラムにより自動で色が切り替わります。色が切り替わるスピードを設定できます。

1. ディスプレイに“J.XX(01-99)”と表示されるまで MODE ボタンを押します。
1. UP/DOWN ボタンを押して XX を 01-99 の間で任意の値に設定し、カラーチェンジするスピードを決定します。01 は最も遅く、99 は最も速くなります。

カラーフェードモード

クロスフェードしながら自動で色が切り替わります。フェードスピードを設定できます。

1. ディスプレイに“F.XX”と表示されるまで MODE ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して XX を 01-99 の間で任意の値に設定し、カラーフェードするスピードを決定します。01 は最も遅く、99 は最も速くなります。

オートモード

内蔵プログラムにより自動で色が変わります。

1. ディスプレイの表示が“A-”となるまで MODE ボタンを押します。

サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した音に反応して、内蔵プログラムが動作します。

1. ディスプレイの表示が“S.XX(00-31)”となるまで MODE ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押して XX の値を 00-31 の間で任意の値に設定し、サウンドアクティブの感度を調整します。00 は最も感度が低く、31 は最も感度が高くなります。

マスター/スレーブモード

接続した複数の灯体をマスター/スレーブモードで同期させることが可能です。

[接続及び設定方法]

1. マスターとなる灯体を 1 台選びます。
2. 本体の背面にデジタル 3 ピン XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結してください。マスター灯体が始点となるようにし、ケーブルの XLR オスコネクタを DMX OUT 端子に接続します。
2. マスターとなる灯体を任意のモードに設定します。
3. マスター以外の灯体をスレーブに設定します。本体背面の MODE ボタンを何度か押して、本体のディスプレイを“S.L.A.”という表示にしてください。スレーブに設定した灯体がマスターに設定した灯体に同期して動作します。

DMX コントロールモード

外部 DMX コントローラーで制御を行います。38B LED PRO では 3 つのモードから DMX チャンネル数を選択することができます(3、6、7 チャンネルモード)。

1. 38B LED PRO と DMX コントローラーをデジタル XLR ケーブルで接続します。
2. チャンネルモード及び DMX アドレスの設定を行います。※下記参照
3. DMX コントローラーのマニュアルと DMX 表を参照しながら制御を行ってください。

- DMX アドレスの設定方法 -

- ・ 3 チャンネルモードで使用する場合

3 桁の数字の内、1 の位の下に点が表示されるまで MODE ボタンを押し、UP/DOWN ボタンで DMX アドレスの設定を行います。



- ・ 6 チャンネルモードで使用する場合

3 桁の数字が表示されるまで MODE ボタンを押し、UP/DOWN ボタンで DMX アドレスの設定を行います。



- ・ 7 チャンネルモード

3 桁の数字の内、10 の位の下に点が表示されるまで MODE ボタンを押し、UP/DOWN ボタンで DMX アドレスの設定を行います。



DMX 表

3 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	赤 0%→100%
2	0-255	緑 0%→100%
3	0-255	青 0%→100%

6 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	赤 0%→100%
2	0-255	緑 0%→100%
3	0-255	青 0%→100%
4	0-7 8-255	無し カラーマクロ
5	0-15 16-255	無し ストロボ 速→遅 / スピード 速→遅 / マイク感度 低→高
6	0-31 32-63 64-95 96-127 128-159 160-191 192-223 224-255	無し ディミング暗→明 ディミング明→暗 ディミング暗→明→暗 カラーミキシング 3 カラーチェンジ 7 カラーチェンジ サウンドアクティブ

※チャンネル 4 の値が 8-255 の時、及びチャンネル 6 の値が 128-255 の時、チャンネル 1、2、3
及びチャンネル 6 の 32-127 は使用できません。

※チャンネル 6 の値が 128-223 に設定されている場合、チャンネル 5 は速度の調整チャンネルに
なります。

※チャンネル 6 の値が 224-255 に設定されている場合(サウンドアクティブ)、チャンネル 5 はマイ
ク感度の調整チャンネルになります。

7 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	赤 0%→100%
2	0-255	緑 0%→100%
3	0-255	青 0%→100%
4	0-7 8-255	無し カラーマクロ
5	0-15 16-255	無し ストロボ 速→遅 / スピード 速→遅 / マイク感度 低→高
6	0-31 32-63 64-95 96-127 128-159 160-191 192-223 224-255	無し ディミング暗→明 ディミング明→暗 ディミング暗→明→暗 カラーミキシング 3カラーチェンジ 7カラーチェンジ サウンドアクティブ
7	0-255	マスターディマー 0-100%

※チャンネル 4 の値が 8-255 の時、及びチャンネル 6 の値が 128-255 の時、チャンネル 1、2、3 及びチャンネル 6 の 32-127 は使用できません。

※チャンネル 6 の値が 128-223 に設定されている場合、チャンネル 5 は速度の調整チャンネルになります。

※チャンネル 6 の値が 224-255 に設定されている場合(サウンドアクティブ)、チャンネル 5 はマイク感度の調整チャンネルになります。

※チャンネル 7 の値が 0 の場合、他のチャンネルを操作しても LED は点灯しません。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

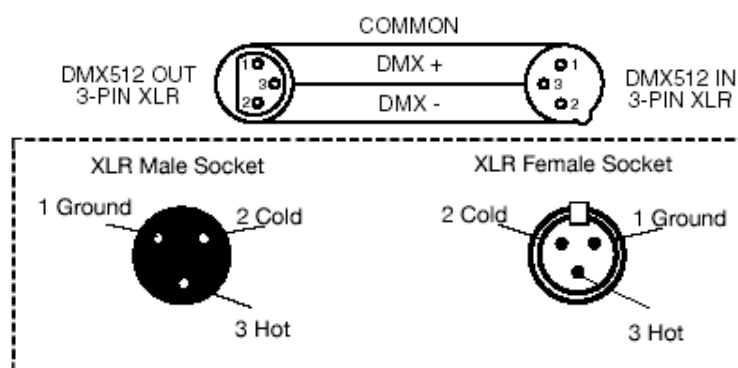
DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

38B LED PRO は最大7チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の背面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

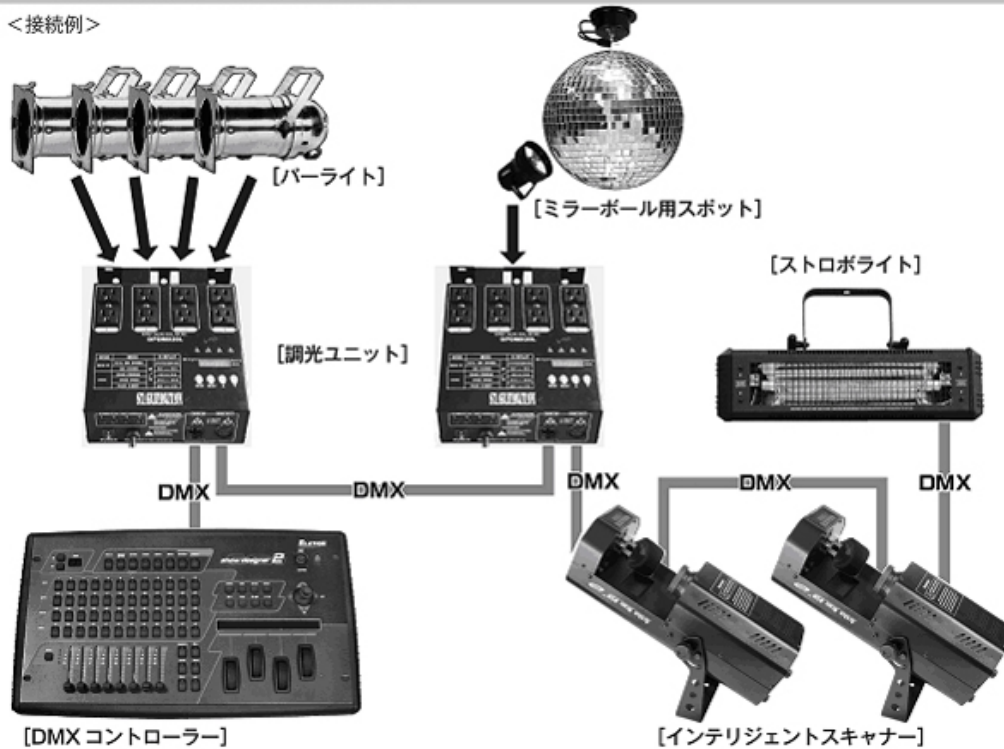


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを 38B LED PRO に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>





- ・ DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線にはDMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続することが可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が短くなるように配線してください。※
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・ インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか、故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ - 長距離の配線について -

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達が上手くいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合はターミネーターを使用してください。ターミネーターとは、最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合はストロボライト)の OUT 端子に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

外側のカバー <一週間に一度>

■カバーが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

信号ケーブル、電源ケーブル <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

ヒューズ交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブルの隣にあるヒューズホルダーをドライバーなどで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">正しい電源・電圧に接続されているか電源ケーブルが損傷していないかヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続に問題がないか正常な DMX ケーブルを使用しているかDMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">外部音が小さい音や高音でないかマイク感度が低く設定されていないか

製品仕様

モデル	38B LED PRO
LED	10mm×75 個(赤 15、緑 30、青 30)
ビーム角	20 度
DMX チャンネル数	3、6、7DMX チャンネルモードより選択
DMX 入出力端子	3 ピン XLR
ヒューズ	1A タイムラグ 20mm
使用電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	9W
重量	1.4Kg
寸法	(W)21×(H)21.6×(D)18.4cm

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

American DJ®